

研究活動

(2016年10月～2017年9月)

心理学科

石田光男

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 3オドボール課題における不快情動語の注意の捕捉 ERPを用いた注意バイアスの評価	共著	2017年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要第9巻	石田光男, 赤嶺亜紀, 金田宗久, 榊原雅人	pp.59-66
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発行・ 発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	該当頁数
1. 不快刺激の注意捕捉効果: 3刺激オドボール課題の逸脱・不快語に対するP3の分析	学会発表	2017年5月	第35回日本生理心理学会, 千葉	赤嶺亜紀, 石田光男, 金田宗久, 榊原雅人	

岡本真一郎

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Eメールにおける皮肉伝達: 送り手側の成功の過剰評価	単著	2016年12月	愛知学院大学心身科学部紀要 12		pp.83-91
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
人を惑わす情報: コミュニケーションからの誤誘導	単著	2017年6月	Tasc Monthly, 498		pp.6-12
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発行・ 発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	該当頁数
関与権限と言語表現	講演会	2016年11月	日本大学	岡本真一郎	
コミュニケーションと健康	講演会	2017年3月	日進市連携講座	岡本真一郎	

葛文綺

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発行・ 発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	該当頁数
1. 大学のハラスメント相談における問題解決過程とフォローアップについての一考察～修士論文を認めない指導教員の行為がハラスメントだと訴える大学院生の架空事例を通して～	学会発表	2017年5月	第35回学生相談学会, 名古屋	李明憲, 葛文綺, 深見久美子	
2. ハラスメントを防止するために～組織の一員としてそれぞれができること～	講演会	2017年8月	豊橋創造大学	葛文綺	

齋藤 眞

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
各適応指導教室によるグループ討議と発表を受けての助言	講師	2016年10月	愛知県適応指導教室連絡協議会地域別研修会(尾張地区)	齋藤 眞	
太田秀樹氏の研究発表(司会)	司会	2016年11月	日本箱庭療法学会第30回大会(帝塚山学院大学)	齋藤 眞	
「適応」を支援してゆくのには節目節目に改めて考えること	講師	2017年1月	名古屋子ども適応センター	齋藤 眞	
WISC(Wechsler Intelligence Scale for Children)への理解	講師	2017年4月	名古屋子ども適応センター	齋藤 眞	
遊戯療法について	講師	2017年4月	名古屋市教育センター	齋藤 眞	
子ども理解を深めるための教育相談講座(いじめ・不登校・学習)	講師	2017年8月	名古屋市教育センター	齋藤 眞	
遊戯療法について	講師	2017年8月	名古屋子ども適応センター	齋藤 眞	

榎原雅人

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
3オドボール課題における不快情動語の注意の補足-E R Pを用いた注意バイアスの評価-	共著	2017年3月	心身科学 第9巻	石田光男, 赤嶺亜紀, 金田宗久, 榎原雅人	pp.59-66
心拍変動バイオフィードバックにおける共鳴周波数検索について-安静時LFピーク周波数を利用した手続きの検討-	共著	2017年5月	バイオフィードバック研究 Vol.44	榎原雅人, 及川 欧	pp.21-28
心拍変動バイオフィードバックの臨床実践	単著	2017年5月	バイオフィードバック研究 Vol.44		pp.37-41

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
不快刺激の注意補足効果: 3刺激オドボール課題の逸脱・不快語に対するP3の分析	学会発表	2017年5月	第35回日本生理心理学会大会, 千葉	赤嶺亜紀・石田光男・金田宗久・榎原雅人	
Recent Advances in Biofeedback/ Neurofeedback Work in Asia	国際セッション (企画者)	2017年6月	第45回日本バイオフィードバック学会学術総会, 大阪	Masahito Sakakibara (coordinator)	
心理学領域からの医学・医療、リハビリテーションへの貢献	シンポジウム (話題提供者)	2017年9月	日本心理学会第81回大会, 福岡	榎原雅人	

高木浩人

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
大学イメージと大学コミットメントの関連-制御焦点の調整効果の検討-	共	2016年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要第12号	三ツ村美沙子, 高木浩人	pp.17-25.

対人的公正が大学コミットメントに及ぼす影響－性格特性の調整効果－	共	2017年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学第9巻	三ツ村美沙子, 高木浩人	pp.41－48.
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
組織特性が大学生の知覚する組織の魅力に及ぼす影響(2)－大学生の達成動機の調整効果－	学会発表	2017年9月	日本心理学会第81回大会(久留米大学)	高木浩人, 石田正浩	
大学運動部の動機づけ雰囲気と部員の動機づけとの関連－競技形態, 達成動機, 競技年数の調整効果の検討－	学会発表	2017年9月	日本心理学会第81回大会(久留米大学)	三ツ村美沙子, 伴真莉乃, 高木浩人	

千野直仁

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 線形・非線形時系列解析とその応用(3)	単著	2016年12月	心身科学部紀要, 第12号		pp.93－100
2. 社会行動科学や医学における統計学の誤用・乱用について	単著	2016年12月	心身科学部紀要, 第12号		pp.101－112
3. 小学生が付けたい体力と保護者が子どもに付けさせたい体力	共著	2017年9月	東海学校保健研究	松原紀子, 千野直仁, 下村淳子, 玉川達雄	pp.15－30
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. Dynamical scenarios of changes in asymmetric relationships on a Hilbert space	学会発表	2017年9月	日本行動計量学会, 静岡	千野直仁	

中島健一

B (論文)					
演題の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
公認心理師と生活支援	単著	2017年9月	社会福祉法人嬉泉紀要(年報第16号)		pp.25－28
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
臨床現場における臨床動作法	シンポジスト	2016年10月	第24回日本臨床動作学会 長野大会		
高齢者動作法ワークショップ	講師	2017年3月	高齢者認知症研究・研修東京センター		
日本臨床動作学会主催研修会	講師	2017年6月	跡見学園大学		

八田純子

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 中高年者における怒り反すう特性とコーピングとの関連	学会発表	2017年7月	東北心理学会第71回大会(尚綱学院大学・仙台)	八田武俊, 八田純子, 田村 達	
2. 怒りを反すうしやすい状況要因の検討	学会発表	2017年9月	日本心理学会第81回大会(久留米大学・久留米)	八田武俊, 八田純子	

牧田 潔

B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
慢性疼痛の認知行動療法－第三世代(マインドフルネス)を中心に－	単著	2017年5月	Locomotive Pain Frontier		pp.26－31
C (翻訳・資料)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
トラウマ関連疾患心理療法ガイドブック	共訳	2017年9月	誠信書房	前田正治, 大江美佐里 監訳・牧田潔	pp.145－173
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
災害時のこころのケア－サイコロジカル ファーストエイドを中心に－	講演	2016年10月	災害時における難病患者 の支援体制構築のため の研修会 刈谷市	牧田 潔	
メンタルヘルス	講演	2016年10月	MC 救命士養成講習 各務原市	牧田 潔	
惨事ストレス	講演	2017年2月	岐阜県消防学校, 各 務ヶ原市	牧田 潔	
惨事ストレス対策・職場のメンタルヘルス 対策	講演	2017年8月	地方公務員安全衛生推 進協会, 出雲市	牧田 潔	
投影法課題実行時における反応内容を反映 した神経基盤	学会 発表	2017年9月	日本心理学会第81回大 会, 久留米	齋藤大輔, Minyoung Jung, 内海千種, 相澤直樹, 牧田 潔, 中村有吾, 平石博敏, 石橋正浩	

松岡 弥玲

D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1. 自己調整方略のライフコース(5)主観 的資源の獲得, 維持, 喪失と自己調節方略と の関連 - 青年期から高齢期までの 横断 的研究から	口頭 発表	2017年3月	日本発達心理学会第28 回大会, 広島	松岡弥玲, 岡林秀樹, 竹村明子, 中川 威	
2. 児童の発達理論	講演 会	2017年6月	平成29年度岐阜県児童 館連絡協議会総会, 羽 島	松岡弥玲	

吉川 吉美

D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
シンポジウム	指定 討論	2016年10月	24回日本臨床動作学会	吉川吉美	
シンポジウム	指定 討論	2016年11月	心理リハビリテーショ ンの会	吉川吉美	
臨床動作法について	講師	2016年11月	広島ファミリールーム 研修会	吉川吉美	
動作法によるリラックセッション	講師	2016年11月	名古屋健康カレッジ	吉川吉美	
ストレスマネジメント	講師	2016年12月	愛知県養護教諭尾張部 会研修会	吉川吉美	
臨床動作法について	講師	2016年12月	第21回心療内科学会学 術大会	吉川吉美	
ストレスマネジメント	講師	2017年1月	岡崎市民病院	吉川吉美	
臨床動作法研修会	講師	2017年3月	ベトナム ダナン師範 大学	吉川吉美	

ストレスマネジメント	講師	2017年3月	大阪システムアプローチ研究所	吉川吉美	
臨床動作法研修会	講師	2017年7月	東北ネットジャパン	吉川吉美	
心理リハビリテーション	講師	2017年8月	福島歩みの会	吉川吉美	
臨床動作法研修会	講師	2017年9月	秋田県南動作法研究会	吉川吉美	